

中学校社会科（歴史的分野）学習指導案

広島県立教育センター 教育情報部

玉里 周二

1 単元計画

ア 教 科 社会科（歴史的分野）

イ 単 元 名 「中世の日本」 - モンゴルの襲来 -

ウ 学 年 第2学年

ウ 単元目標

武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり、武家社会が発展していったという大きな時代の流れを多面的・多角的に理解する。

元寇、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接なかかわりが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを理解する。

畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたこの時代の大きな変化の原因を、農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えることができる。

武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を、代表的な事例を取り上げてとらえさせ、その中で今日につながる文化が見られることに興味を持つことができる。

2 単元の評価規準表

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>身近な地域に存在した武士団や守護・地頭などを積極的に調べ、武士のおこりに関心を持つことができる。</p> <p>武士の生活や生き方に関心を持つことができる。</p> <p>元寇、日明貿易、琉球の国際的役割などの学習を通して、東アジア世界とのつながりに関心を持つことができる。</p> <p>今日の日本の文化の中から鎌倉時</p>	<p>武家政権が誕生して武士の支配がしだいに全国に広まり、武家社会が発展していった理由を、土地制度の変化などの資料から多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>元寇や日明貿易の背景を東アジア世界の動きからとらえ、それらが国内の政治に及ぼした影響について、政治的・経済的・文化的な面から考</p>	<p>資料「モンゴル帝国の拡大」からユーラシアという大きな世界が誕生したことを読み取るなど、歴史地図を活用することができる。</p> <p>「御成敗式目」や「永仁の徳政令」から、武士社会の特色や幕府政治の変化を説明できるなど、文献や参考資料を活用することができる。</p> <p>「東大寺南大門」などから、武士や</p>	<p>武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり、武家社会が発展していったという大きな時代の流れを説明することができる。</p> <p>元寇、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりがみられたことや、それが国内の政治に影響を及ぼした</p>

<p>代や室町時代に原型があるものを見つけ、また伝統文化を愛する心を持つことができる。</p>	<p>えることができる。 畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたというこの時代の大きな変化の原因を、農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えることができる。 鎌倉仏教が中世を通して多くの人々の心をとらえ広まっていった理由を、仏教の特色や社会の動きと関連づけて考えることができる。</p>	<p>民衆の活力を背景にして生み出された文化の特色をあげることができる。 学習したことをコンピュータなどを活用して整理し、発表することができる。</p>	<p>ことを説明できる。 農業をはじめとする諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたという大きな変化を説明できる。 中世の文化の特色とその中に今日の日本文化に伝わるものがあることを、具体例をあげて説明できる。</p>
---	--	--	--

は、第5次を表す。

3 単元の学習指導計画

次	単元(時数)	学習活動	留意点
第1次	中世の日本 1 武士の成長	<p>平安時代の中頃に登場した武士がしだいに勢力を広げてきたことを、地方や都でおきた戦乱の様子などから理解する。 荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり、武士の成長との関連について考える。</p>	<p>土地制度の変化については深入りせず、荘園や公領における武士の役割に着目させる。 具体的にイメージできるような武士の館の資料を提示する。</p>
第2次	中世の日本 2 武家政権の成立	<p>武家政権が東国に生まれ、支配力を広げていった様子を、幕府と朝廷の関係などから理解する。 将軍や執権と御家人の関係に着目して、武家政権の特色を考える。</p>	<p>Webページを活用して、より具体的に鎌倉の地理的特徴を考えさせる。 「北条政子のうったえ」を活用し、朝廷と幕府の勢力関係、将軍と御家人の関係を読み取らせる。</p>
第3次	中世の日本 3 武士と民衆の動き	<p>鎌倉時代の武士の生活の様子を絵巻物や「御成敗式目」などの資料を通して理解する。 農業技術や手工業・商</p>	<p>武士の生活については、動画素材や一遍聖絵の一場面から、より具体的にとらえさせるようにする。</p>

		業の発達による生活の向上がもたらす社会の変化について考える。	
第4次	中世の日本 4 鎌倉時代の宗教と文化	鎌倉時代の新しい仏教の特色を理解し、それが人々の心をとらえてひろまった理由を考える。 建築物・彫刻・文学作品のいくつかを具体的に調べ、鎌倉時代の文化の特色を理解する。	鎌倉仏教の各宗派の比較や作品名の羅列などの網羅的な学習にならないようにする。 鎌倉時代の文化については、武士的な面と貴族的な面との二面性を持っていたことに気づかせる。
第5次	中世の日本 5 モンゴルの襲来（本時）	元軍に勝利した理由を、「蚊」をキーワードに、当時の国際情勢や自然環境、戦術面など、様々な視点から考え、元寇の影響などについて整理する。	東アジア世界の動きが、日本の歴史に大きな影響を与えたことに気づかせる。 幕府滅亡の原因については、当時の国際情勢や御家人の動きなど、多面的にとらえさせるようにする。
第6次	中世の日本 6 室町幕府と経済の発展	室町幕府の仕組みの概略をまとめ、鎌倉幕府の仕組みとの共通点と相違点を考える。 農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。	政治機構の詳細には深入りせず、鎌倉時代からの変化を大きくとらえさせる。 民衆の生活が具体的にとらえることができるような動画素材を提示する。
第7次	中世の日本 7 民衆の成長と戦国大名	畿内を中心に自治的な組織が生まれたことを、正長の土一揆などの様子から理解する。 戦国大名が登場した理由について、社会の変化や応仁の乱から考える。	徳政令、一揆については具体例を取り上げて学習する。
第8次	中世の日本 8 室町文化とその広がり	公家の文化と武家の文化が融合するなど、複合的な文化が生まれたことを理解する。 この時代に生まれた文化で、現代に受け継がれているものに関心を持つ。	様々な面から現在に伝わる文化財を紹介・提示し、室町文化の特色を具体的にとらえさせる。

4 学習指導上の留意点

「鎌倉」の地理的特色について、多角的な視点で考えさせるため、教科書の図版資料だけでなく、他の参考文献の図版資料なども提示する。

教科書や資料集だけではイメージしにくい「武士の生活」や「室町文化」では、関連する動画教材を活用することで、具体的にイメージを持たせるようにする。

動画教材を提示する際には、ただ見せるだけでなく、必要に応じて動画を停止して話し合いをさせるなど、集団思考の時間を確保する。

板書内容をスクリーンに提示することにより、ノートに書き写す時間などを節約し、生徒の話し合いや議論する時間を確保する。

5 第5次の学習指導案

本時の目標		元軍に勝利した理由を、「蚊」をキーワードに、当時の国際情勢や自然環境、戦術面など、様々な視点から考え、元寇の影響などについて整理することができる。		
時間	教師による発問・指示	学習活動	資料	予想される反応と評価
導入	「この絵は何の絵でしょうか」 「元寇の結果はどのようなのでしょうか」 「理由はそれだけでしょうか。今日は『蚊』のキーワードをもとに、様々な面から考えてみましょう。」	T:発問する P:答える	蒙古襲来絵詞	・「元寇の絵」 ・「元が襲ってきた」 ・「追い返した」 ・「台風がきた」
	「様々な面から推測してもらうのに、考えるヒントをいくつか示します。まずこの地図を見てください。モンゴル帝国がどのくらいの大きさだったかイメージできますか」 「この頃の日本をとりまく国際関係はどうなっていたのだろ	T:説明する P:聞く T:発問する P:答える T:発問する S:答える	教科書P57 資料集P57 リンク集 ワークシート	・「すごく大きい」 ・「領土を広げていた」 ・「高麗をも支配下においた。」

展 開	<p>う」 モンゴルと日本の気象条件の違いにも簡単に触れる。</p> <p>「元軍を追い返すことができた理由を、『蚊』というキーワードをもとに、総合的に推測してみよう」 「それでは班ごとに発表しましょう」 「お互いの推論に付け足し、反論などありますか」 「元軍の撤退後、鎌倉幕府はどうなるのだろうか。またその理由はなぜだろう」</p>	<p>T:発問する 指示する</p> <p>S:班で話し合う</p> <p>S:発表する</p>		<p>・「蚊による寝不足」 ・「言葉が通じない」 1 東アジア世界と密接な関わりがみられたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを説明できる。(発表から) ・「弱くなる」「つぶれる」 ・「御家人に対する恩賞が足りなかった」</p>
ま と め	<p>「今日は、元軍が撤退した理由を、『蚊』をキーワードに考えてきました。また、その後の鎌倉幕府の様子についても考えてきました。シートに記入しながらまとめましょう」 「最後に自己評価シートに記入をしてください」</p>	<p>T:指示する P:記入する</p>	<p>ワークシート</p> <p>自己評価シート</p>	<p>2 元寇が国内の政治に及ぼした影響について、政治的・経済的・文化的な面から考えることができる。(ワークシートから)</p> <p>3 東アジア世界とのつながりに関心を持つことができる。(自己評価シートから)</p>

: 発問 1 : 知識・理解, 2 : 思考・判断, 3 : 関心・意欲・態度